

故 井原威雄様を偲んで 挽歌

たなごころ
掌を額において別れせむ

あなたはすでに佛のお貌に

ゆるやかにしかりと話す君なりしに

逝くを急ぐか春のさかりに

いくとせ
幾年も病に憑かれて去りし君

やうやく知りぬ安らけき世を

妻を愛で三人の男の子とよき業を

治め得ざりしか君がししむら

会ひたかりしか例会の終の日は

いと
咳き込む君の愛ほしかりけり

すさ
吹き荒ぶ春嵐に舞ふ木の葉なり

君を送らむ葬送の日は

平成二十六年五月十二日

宮崎幸雄